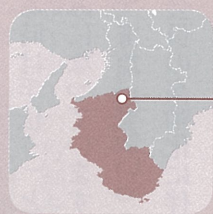




班ごとの訪問活動で 会員増へ

和歌山県橋本市 上田千歳会
●会員数66名（男性32名、女性34名）



和歌山県
橋本市

上田千歳会の平成26年度の会員数は45名でしたが、平成27年から「仲間をふやそう運動」に取り組んだ結果、新規加入者21名（内、60歳代6名、新興住宅からは2名）を得て、総数66名になりました。上田地区は戸数120戸の集落で、東部班・中部班・西部班・新興住宅（47戸）と4班に分かれています。

以前から未加入者に入会を勧めていましたが、多くの方は「仕事があるので忙しい」「入会すると役が回ってくる」「人間関係が面倒」「年老いたように思われる」などの理由で断られることが多い状態でした。

運動の三つのポイント

そのような中、平成27年度に橋本市老連から会員増強運動の実施要請があり、千歳会としてどう取り組むかを役員会で検討して、次の三つのポイントにより運動を展開することにしました。

1 会員が主役

活動へ参加していただくためには、会員の口コミが大事だと思います。普段から会員だけでなく地域高齢者に声をかけて、親しみもてる人間関係づくりが心がけま

千歳会の存在をPRしてきました。

また、地域の「ふれあいサロン」の運営に関わった時には、参加される高齢者に千歳会をPRして会員参加を呼びかけました。

3 推進体制と目標の設定

千歳会は4班から各2名の役員が選ばれていますので、各班役員及び会長の3名で個別訪問して、入会を勧めることとしまし



楽しい日帰り旅行

訪問活動による成果

3名による訪問時には、千歳会の運営（年会費千円）、次のような事業内容を大まかに説明しました。

日帰り旅行（年2回）、昼食会（年2回、会費各千円）、陶芸教室（約17名参加）、グラウンド・ゴルフ（毎週水曜日午前、約14名参加、同大会懇親会は年4回・会費千円）

近所に住んでいる親しみある役員が自宅へ足を運んだのが功を奏したようで、21名もの会員増につながりました。

最近の活動では、旅行車中での情報共有、市の講師による腰痛等予防体操、市民活動サポートセンターのボランティアによる大道芸披露などが、会員から好評を得てきました。今後も、無理のない自由に参加出来る会づくりを目指して、さらに足腰に負担のない催し



社会奉仕の日の活動を終えて

た。

2 区長、地域団体との連携

まず未加入者の把握については、区長に高齢者の情報の開示、協力をお願いをして、該当者の掘り起こしを行いました。

地域団体の事業（地区の社会奉仕活動、小学校の運動会、公民館文化祭、人権啓発学習活動）へは積極的に参加して、地域に



陶芸作品を前に

などを考えていきたいです。地域諸団体事業への参加と共に、市老連主催事業（グラウンド・ゴルフ大会、すこやか交流会、研修会など）にも積極的に参加していきたいと思

将来、どなたが千歳会の役員に任命されてもいいように、役割分担をしっかりと行い、会員同士協力していくことが何より大事であると考えています。

（会長 田中照造）